

2025年度 早稲田大学大学院教育学研究科

高度教職実践専攻入学試験

(一般入試 (前期日程) : 筆記試験 (教職教養))

問題用紙

注意事項

1. 問題冊子および解答用紙は、試験開始の指示があるまで開かないこと。
2. 問題は、2～3ページに記載されている。試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督員に知らせること。
3. 受験番号および氏名は、試験が開始されてから、解答用紙の所定欄に正確に記入すること。なお、解答用紙が複数枚ある場合には、それぞれの所定欄に正確に記入すること。
受験番号は以下の例のとおり、数字で記入すること。

(例) 11001 番 ⇒

万	千	百	十	一
1	1	0	0	1

4. 解答はすべて解答用紙の所定欄にHBの黒鉛筆またはHBのシャープペンシルで記入すること。
5. 試験終了の指示が出たら、すぐに解答を止め、筆記具を置くこと。終了の指示に従わずに解答を続けた場合は、答案の全てを無効とするので注意すること。
6. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ること。
7. いかなる場合でも、解答用紙は必ず提出すること。

問1. 以下の文章は、『教育振興基本計画（第4期）』閣議決定（令和5年6月16日）の一節である。空欄（①）～（③）に入る最も適した語句を解答欄に書きなさい。

我が国の子供たちは社会の形成に主体的に（①）する意識が低いことが指摘されている。社会の（②）な発展を生み出す人材を養成するためには、自らが社会を形成する一員であり、（③）を経て自らルールや仕組みを作ることができる存在であるという認識を持つことが重要である。

問2. 以下の文章の空欄（①）～（⑤）に入る最も適した語句を解答欄に書きなさい。

平成8年7月19日、中央教育審議会は21世紀を展望した我が国の教育の在り方について第1次答申を行った。答申文中では次のような記述があった。

- (1) 「審議において、我々が特に留意したことは、学校・家庭・地域社会を通じて、我々大人一人一人が子供たちをいかに健やかに育てていくかという視点に立つと同時に、（①）に立って審議を行い、今後における教育の在り方として、（②）の中で、子供たちに（③）をはぐくんでいくことが基本であると考えた。そして（③）は、学校・家庭・地域社会が相互に連携しつつ、社会全体ではぐくんでいくものであり、その育成は、大人一人一人が社会のあらゆる場で取り組んでいくべき課題であると考えた。
- (2) こうしたことを背景に、生活体験や（④）の不足もあって、子供たちの（⑤）が弱いなど社会性の不足が危惧される。

問3. 次の文章は、教育基本法第五条である。文中の（①）から（⑤）の空欄に入る語句を解答欄に書きなさい。

第五条 国民は、その保護する子に、別に法律で定めるところにより、普通教育を受けさせる義務を負う。

- 2 義務教育として行われる普通教育は、各個人の有する能力を伸ばしつつ社会において自立的に生きる（①）を培い、また、国家及び社会の（②）として必要とされる基本的な（③）を養うことを目的として行われるものとする。
- 3 国及び地方公共団体は、義務教育の（④）を保障し、その水準を確保するため、適切な役割分担及び相互の協力の下、その実施に責任を負う。
- 4 国又は地方公共団体の設置する学校における義務教育については、（⑤）を徴収しない。

問4. 以下の文章の（1）～（3）について、それぞれあてはまる記号を解答欄に書きなさい。

- (1) クロンバック (Cronbach, L. J.) の適性処遇交互作用 (aptitude treatment interaction) についての説明で、誤っているものはどれか。

- ア クロンバックは信頼性係数の提案でも有名である。
- イ 教授法と学習効果に交互作用があるという説である。
- ウ 教育目標が同一なら、異なる教授法を用いるのが完全習得に必要なことになる。
- エ 目標にするのはすべての学習者に最適な唯一の教授方法を作り出すことである。
- オ 「個に応じた学習」「個別学習」の中で生かされる現象である。

(2) 以下の自閉症についての説明のうち、誤っているものはどれか。

- ア 模倣やコミュニケーションの苦手さは、ミラーニューロンの働きの弱さで説明されることがある。
- イ 遺伝の影響はあるが、育て方の問題は否定された。
- ウ 心の理論課題の通過率が低く、他者の視点に立ちにくい傾向が指摘されている。
- エ コミュニケーションの質的問題は、語彙や文法知識の獲得の遅れから起こる。
- オ 社会的行動は後天的に身につけることは可能である。

(3) 古典的な学習心理学の説明で、誤っているものはどれか。

- ア パプロフはもともと胃の研究をしていた。
- イ ソーンダイクは問題箱を用いてネズミの学習を研究した。
- ウ ワトソンはアルバート坊やの実験で有名である。
- エ スキナーのオペラント条件づけは現代心理学に大きな影響を与えている。
- オ ケーラーはチンパンジーを用いて洞察について研究した。

問5. 以下の(A)～(D)のそれぞれの領域について、いずれかの語句を選び、その説明を解答欄に書きなさい。なお、解答用紙の該当欄に、選んだ語句をそれぞれ記入すること。

- | | |
|--------|-----------------------------------|
| 領域 (A) | <input type="radio"/> ウェルビーイング |
| | <input type="radio"/> 深い学び |
| 領域 (B) | <input type="radio"/> 足利学校 |
| | <input type="radio"/> 全人教育 |
| 領域 (C) | <input type="radio"/> 義務教育学校 |
| | <input type="radio"/> コミュニティ・スクール |
| 領域 (D) | <input type="radio"/> 内田クレペリン検査 |
| | <input type="radio"/> 集団随伴性 |